

# 京城日報

九月五日夕刊 (朝日版七頁)

## 鳥嶺里方面戰報

### スクエラ附近敵部隊 多數の獨逸俘虜混入

開戦以來八月二十三日より二十五日迄のスクエラ方面の戦況は、敵軍の侵入に對する我軍の奮勇な抵抗の結果、敵軍はスクエラ附近に侵入し、多數の獨逸俘虜を混入して、スクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

### 騎兵主力前進

騎兵主力は九月一日、スクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

### 藤井一部隊到着

藤井一部隊は九月一日、スクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

### 別報

別報はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

### 子族承認宣明

子族承認宣明はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

### 徐總統當選

徐總統當選はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 過渡内閣出現

段總理は總統更替を機として形式的に辭表を提出した。過渡内閣は九月一日に組織された。

## 福州人心動搖

福州各地は九月一日に激しい地震に見舞われた。人心は動搖した。

## 新航空司令再燃

新航空司令は九月一日に再燃した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 國物價騰貴と暴動

國物價騰貴と暴動はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 外調會波瀾無し

外調會波瀾無しはスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 徐世昌氏閣歴

徐世昌氏閣歴はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。



## 教職員増俸

教職員増俸はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 德川公出發期

德川公出發期はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 長島氏當選

長島氏當選はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 清新兩派合同

清新兩派合同はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 李王太子訪問

李王太子訪問はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 列車運轉注意

列車運轉注意はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 軍需米供給機關

軍需米供給機關はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 各地代表者

各地代表者はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 米穀影響如何

米穀影響如何はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 茶前酒後

茶前酒後はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 高島中將歸任

高島中將歸任はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 簡點呼聲行

簡點呼聲行はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 比較

比較はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 毛布新荷著

毛布新荷著はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 茶前酒後

茶前酒後はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。

## 出征軍人歡迎

出征軍人歡迎はスクエラ方面に進軍した。敵軍はスクエラ方面に進軍した。



▽  
猛烈な森林戦

[illegible]

ある偵察隊  
つて來ました、厚東少尉  
い、敵情はどうだい？」

山行かきまわす陸海行かなし。勇  
敵なる日本軍は昔條原に上陸後皇  
既に幾多の死傷者を出した。八月  
二十九日の朝記者は神體

ステーション

なれば兎も何節制の時のやうな  
氣に逸れぬ。そして再び前進します。  
また一つの川があつて其處に不  
大きな飯食を提出しました。和  
それで部下を説め、進みます。

其は再び元の危険界に墮  
偵察しようとするに機に  
突の地點に敵が居ます、  
山撃て山に少尉の命が下

敵はバツ草薙に倒れた  
思ふに象らにして雨のやうな  
砲弾がわれ等の身邊に集中して

少尉が敵弾

3

A black and white photograph of a man standing in front of a building. The man is wearing a light-colored shirt and dark trousers. The building has a sign that says "RO" and a large window. There are other people visible in the background.

▽會議  
派雲

源軍司令部は、亞細中央に航路を築き上る。丘にある家は、聖母の直克の將校とチエックや佛蘭西兵など後で三階建の堂々たるものを入をよよく見せる。室毎には何處かは日の丸國旗の下に船長が立に間に聖母マリの像を金色に英佛米の將校が出た道へつゝある

室毎に聖母の像が光つてゐる

英佛米 チエック、支那など  
各國の將校が出る道へつゝある

會議室、此處ではよく革  
手エツク、支那等の將校が  
のり達と會議をして居る。

何れでも何々委員員 何々おさ  
 何でがびりが續いて居る。そのお  
 公議議長 由比中津 武内中  
 中島少將 難田少將などが控  
 の人々、次はまた大坂市街に控  
 の人々、それから今度は飛騨の主  
 室に通過の宴等  
 日本自動車  
 が數頭頭に團體を圍て、思案して  
 ある。斤の上からは市街をにぎめ  
 ける。何んには留布板の名称  
 の坂は仲間へ出て、坂の  
 われ、何んには留布板の名称

○  
愈  
○

軍用停車場の歡聲

にはまだ時間があるので、  
 くるこころなり背蕨を下し、  
 上衣を脱いで一息入れ、

の部長と共に○○すべき  
○○長は  
副官以下  
の幕僚を従  
重なる見送りをした(初選考)

山道平康郡化岩里の福振山  
山中から紫の燐石脈が露

鑑定の結果該靈石は學術上  
方々石と稱する一種の貴石なる事  
に依つて證明されたが之  
を發見者山口縣加勢勇二氏の  
所蔵にして貰つたが何れも銅鑄  
で鑑定をして貰つたが何れも銅鑄  
の方解石とか成は靈石であらう  
位の事で眞面目に研究する者もな  
かつた。その事を耳にして私は早

又總督府の保科川崎に實地を調査して戴た化學的試験の結果確に

近きない事を証明した其の地  
 調査のため、鮮した帝國軍隊の  
 神保博士を同席し  
 地の調査に出発したが其の陣  
 亦同技術士同席の意見があつ  
 て私と大いに飲んで居る大第  
 將來は美術品として製  
 する事である」と言つて居た  
 公事大連は「おや、おや、おや」  
 と驚き、  
 暗殺狂？  
 レニン殺  
 の下手人  
 さんさつさつ

雲獄狀の模造

[illegible]

は可能ないから多くはビ  
ン、簪の玉、指環の飾  
用ひられる。兎に角寶石  
の産出に乏しい日本で慙

次な鑽石を發見したと言ふ事は  
 不可思議であり、且つ學問上に  
 採掘に値する可き事と信する。因  
 て今度足る華南石と名附けた由  
 である。

掛間往を俟ち居る内、總て孫官黃  
 弘は手錠を外され被審席に進み申  
 で軽く一禮す身には

◆銘仙豎縞の單衣に同

御本邸に入られたるが五日  
差下に御對面相成りたり

遺骨分配式  
△小倉船行社にて  
参拜者泣く  
許斐少佐以下二十四名の遺  
◆興奮してゐたので略  
警察の取調べに對しても如何様にも  
申立てたが確然然とてゐるない靑  
すゝと述べ其の犯意を明瞭に答へ

停車場には仙波師團長新井  
を始め十二師團の主なる将  
官歩兵十四上兵十二兩

市有志將校婦人會員遺族等數  
百有餘人迎へて遺骨は一つく歩兵  
迎へてあり遺骨は一つく歩兵  
市有志將校婦人會員遺族等數  
百有餘人迎へて遺骨は一つく歩兵  
迎へてあり遺骨は一つく歩兵

るものなりこ(東京特電延々)

**ハルビンに里**

戦病院

七千名を  
收容すべし

滿政府は七八千名の患者を收容せしむる爲め、野戰醫院を哈爾濱に設け、待合室、手術室、病室、藥房、消毒室、出産部の必需品の買入方面から、三、四萬圓の巨費を要する。

▽**廉賣米値上**

に就て

救濟會が於ては五日より石一坂高米十八錢、粳米二十錢を以て賣つて、後は賑濟券の交付方と於てより一層的確なるを得べし。

元和關吏貝江  
對して「始めか  
つた」答へた  
三名換用二央

○診察を受け居るのみ  
 ○神職講習會  
 意々五日より神職

平素の狀態及び系統等に於て爲被告の實姉山岡樹、並に(三)の兩名をも證人として、れんこを申請したるに

主何れも採用され午後五時半頃  
に、**廉賣券**をばすべし

○音樂演劇會 在、京朝野留學生樂  
友會館にて七日午後八時より、演劇中  
に、**廉賣券**をばすべし

十名の参集を求め學校組織  
 十名の参集を求め學校組織  
 十名の参集を求め學校組織

明治時代の廉價券配付方法  
 ◇不統一 にして或らの  
 必要なしと認めらるるもの之を交付し或總代  
 落附機家一行にて閑暇中

四國男子なり  
間發動罪惡の迷  
る様貴重なる精  
ならずし非國多  
の要何かある  
へ了解に苦  
別年開闢す  
並に魚鳥世

大僧の威  
を厚くす  
けし、利に  
不<sup>レ</sup>達路に移り安き  
の海程に就ゆ  
期を發行  
成の近暇ならん我共其日十  
又三千人を見ず君國異  
客は皆打者ぞ云ふへからず  
互に協力して大僧住者の思想  
を開發し心靜むる爲に何物  
も厭はずと云ふなり

僧庫師のもの多かり精神  
的樂事車二  
の樂家と稱する宗景車二

妓生々如敷性<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>の殿  
々には打者ぞ云ふへからず

のほそ云ふが然れ客席の如  
大僧の威  
を厚くす  
けし、利に  
不<sup>レ</sup>達路に移り安き  
の海程に就ゆ  
期を發行  
成の近暇ならん我共其日十  
又三千人を見ず君國異  
客は皆打者ぞ云ふへからず  
互に協力して大僧住者の思想  
を開發し心靜むる爲に何物  
も厭はずと云ふなり

一番よくさく  
山田耕市製丸の  
**マリアア特効丸**  
此藥は、肥後大分縣下志賀郡志賀町に於て、  
ニセモノあり御注意  
肥前山元町有之  
本舖**林藥房**  
代理店 京坂本町 山岸天祐堂  
釜山辨天台 大黒南海堂  
同 平壤大和町 森田草葉堂受店



佛國水兵、日本兵、チエツク兵

★ブラゴエチエンスク歸客談★

司は日支兩國政府の出資合辦事  
で資本金は北洋銀三百萬圓全資  
込の大倉社で、實に明治四十  
九月の創立である事は先刻御承

滿洲の採鑛と權利の確

自在の活動が出来る様になつた以前已に北方に於いて相當盤を築き可なりの仕事を擴けたものは自己の所在地に戻

暗號には商業用語を用ふ

とあるに驚かされた忌憚なく云  
しめたならば所謂戦争商人の

日本商人の活躍する本舞臺

丁子屋洋服店より生地約一萬四  
餘圓を納入し既に八月より平攤  
獄に於て之が製造に着手して居  
が本月中に全部仕上ぐ可き確定

出を禁じたいものである

次に勸むべき事は、島村監學（しむらみづのうゑむね）博士が有効を證明された腦神經（のうたいしんけい）疾患に格別（かくべつ）の薬（やく）を以て腦神經の疾患に格別の

めに精勵する事が出來

悪い傾向ではない併し目下  
山者を見るに極めて輕薄者流  
の如く、先日滯哈の際  
旅館を訪問し進出に對する  
斯

物價激増し長春及

用宜しきを得ば之に依て以て北へ進出軍の活動を援け又一方「獨立的助長」の途を講じ得る事は歴

四平野

確固たる精神と善良なる佐々木  
 有し而も  
 国家的意味で活躍す

計百五十坪建

經濟界を整理し、益々助長策を講ずべきは一日も忽にすべからざる事業である、右の如き大責任を擔持せしむべき活動し得べき人物は、

福諸病腦  
音君患神  
!! の者經

熱くなく灸跡に形も  
根治すかつけ病  
には特効あり  
二丁目本商店前入坂大  
伊藤灸術専門

季の  
脳<sup>のう</sup>神<sup>しん</sup>經<sup>けい</sup>病<sup>びやう</sup>療<sup>れう</sup>法<sup>ぽう</sup>

ばい毒  
 りん病  
 大坂東區東雲町竹屋  
 ある方へ手付金  
 不忠誠  
 下る妙薬  
 蘇利特効一週  
 特製貳回五符  
 梅生特効二週  
 特製貳回二符

[illegible]







# 米價の將來

小説家としての桑田の關係  
桑田の新聞記者としての活動  
桑田の政治小説  
桑田の政治小説の發展  
桑田の政治小説の特色  
桑田の政治小説の意義  
桑田の政治小説の地位  
桑田の政治小説の將來  
桑田の政治小説の評價  
桑田の政治小説の地位  
桑田の政治小説の將來  
桑田の政治小説の評價

教授

賣出し

永田錦心  
杵屋連中

芳村孝次郎

木  
松本 長  
一龍齋貞山

電話一八三番

形携帶至便  
萬人の親友

深水（たる美人の悲愁）

岡本  
 綺堂  
 日光の山奥に帯め  
 る飯島を材料とし  
 こゝれに窮究たる美  
 麗な人型が行はる  
 暖い物語り

長田 日本銀行の金庫から飛び出した一個の金貨は、ゆる階級の人活動大活躍の足跡……

武田上州安下城の奥庭に下り立つた磯姫の鶴が啼き立て、伊士の言を聞きんじて仇討となる

北島 新進の作家北島春  
 春石 石氏の筆によりて  
 なは何を語り何を呪ふか……

平井 昔時上州前橋市に在  
晩村 つた哀れな言語の一  
鮎は筆者得意の筆の  
信の幾々懸念の色々

◆世界各国珍事珍聞……

高村 夏葉 作  
尾中 青山 書

博文館

[illegible][illegible]

府會第十號  
大正九年六月一日  
朝臣 府府府 金谷 充一

**最新刊**

**一週間速進法**  
著者 姓名 宛 簡  
一週間速進法 著者 姓名 宛 簡

**朝鮮農業寶鑑**  
著者 姓名 宛 簡  
朝鮮農業寶鑑 著者 姓名 宛 簡

**花培養秘訣**  
著者 姓名 宛 簡  
花培養秘訣 著者 姓名 宛 簡

**大阪屋號**  
著者 姓名 宛 簡  
大阪屋號 著者 姓名 宛 簡

**京日案内**  
著者 姓名 宛 簡  
京日案内 著者 姓名 宛 簡







從軍寫眞畫報

金谷從軍記



學資は嵩む一方

節減に苦心する京城中學

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

野戰郵便局員狙撃さる

重傷後遂に死亡す

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

政變毎に無くて叶はぬ人物

大總統に當選した徐世昌氏

北洋派の元老 袁世昌の片腕

就任迄には大きな曲折があらう

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

王世子参内

李王世子参内は、昨朝の如く五日

午後一時、王世子参内は、昨朝の如く五日

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

浦鹽の印象

金谷從軍記者

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

巧な詐欺

朝鮮に入込む

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

飛行郵便

電信より早い

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

珍強い強風

北洋派の大風

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

政治變毎に無くて叶はぬ人物  
大總統に當選した徐世昌氏  
北洋派の元老 袁世昌の片腕  
就任迄には大きな曲折があらう

王世子参内  
李王世子参内は、昨朝の如く五日  
午後一時、王世子参内は、昨朝の如く五日

浦鹽の印象  
金谷從軍記者  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

巧な詐欺  
朝鮮に入込む  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

飛行郵便  
電信より早い  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

珍強い強風  
北洋派の大風  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて

空瓶買入券附  
空瓶買入  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて  
▲對照上必要 ありて



[illegible]